

3月4日から26日まで、予算特別委員会が開催され、19日には総括質問が行われましたので、質問と答弁（要旨）を、ご紹介します。



1 公共施設の利用状況と有効活用について、3点伺う

- ① 区民館におけるトレーニング室のあり方について、より多くの方が利用できるよう、見直しすべきである。
- ② 公共施設の利用状況が芳しくない和室等、機能の転換を図るべきである。
- ③ 利用条件や登録要件が異なるなど、運用も複雑な公共施設について利用要件など見直し、区民にとって使いやすくなりやすい施設利用について伺う。

【区長答弁】

- ① 機器の老朽化や開設時間の限定など課題があり、今後、社会状況の変化や多様化するニーズを踏まえ、トレーニング室のあり方を検討する。
- ② 様々な課題があることは承知している。今後、新たな施設の整備や大規模改修に合わせ、機能の転換を図っていく。
- ③ 利用要件等の見直しを図り、公共施設予約システムの改修なども積極的にすすめ区民が施設をより利用しやすくするよう取り組んでいく。

2 認知症支援の推進について2点、伺う

- ① 認知症の方と家族や介護者等との信頼関係を構築するために、「ユマニチュード」というフランス発祥のケア技法があるが、講演会を実施するなど周知・啓発を図るべきである。
- ② 高齢者の意欲や注意力が向上するといわれているeスポーツを介護予防事業に取り入れるべきである。

【区長答弁】

- ① 有効な技法のひとつと認識している。支援方法に関する講座等、実施し認知症の方が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう取り組んでいく。
- ② 高齢者の社会参加を一層促進し、認知・身体機能の維持・向上を図るため、今後、eスポーツの活用について検討する。

3 生涯学習環境の充実について3点、伺う

- ① 社会教育館等の指定管理者との連携をより密にして、区民に一層多様な学習機会を提供すべきである。
- ② 生涯学習を始めたい方を対象にした「生涯学習きっかけ相談」の詳しい内容について伺う。
- ③ 生涯学習ボランティア「まなボ」についての実績について、今後の取り組みについて伺う。

【区長答弁】

- ① 意見交換を行い年間の講座の設定など行っているが、より一層、連携を密にして区民への多様な学習機会の提供に努めてまいりたい。
- ② 生涯学習への一步を踏み出すことを目的に実施しており、今後も区民のニーズに応じて、オンデマンド講座の紹介や相談者の希望に沿った学習相談を行ってまいりたい。
- ③ 区民の持つ豊かな知識と経験を活かし、ボランティアとして活躍していただくことは継続的な生涯学習に取り組んでいただくうえで非常に重要です。今後も各講座で人材を発掘するとともに、区民が教え合い学び合える環境を整備してまいりたい。

小坂よしひさ 粋いき台東へ 身近な区民のサポーター！

台東粋いき新聞

— KOMEITO —
公明党
令和6年度
36号



第1回定例会並びに予算特別委員会（会期：2月6日～3月26日）

開催されました。今定例会にて、一般質問を行い、かつ、予算特別委員会の委員として臨みましたので、質問の要旨と答弁の内容を掲載し、かつ、令和6年度の主な事業についてご紹介いたします。



2月15日 一般質問を行いました。

質問と答弁（要旨）を、ご紹介します。



1 災害に対する備えについて、3点伺う

- ① 全ての人を取り残さない「インクルーシブ防災」の認識について伺う。
- ② 災害時におけるトイレの確保と管理について台東区の現状は。また携帯トイレの全戸配布について伺う。
- ③ 発災前の事前防災や発災後の復旧復興の早期実現を目指す「縮災」について伺う。

【区長答弁】

- ① 高齢者や障害者など配慮が必要な方について特に影響を受けることから、あらゆる人を取り残さない「インクルーシブ防災」の視点は重要である。
- ② 都と連携し、マンホールトイレを約400か所整備するとともに、排便収納袋を避難者数の1日分から3日分に増やす。全戸配布については効果的な区民への周知方法を検討したい。
- ③ 「縮災」の視点を踏まえた日常の備蓄や避難所の開設訓練、木造住宅密集地域への不燃化促進などの施策を展開している。

2 カスタマーハラスメントについて、伺う

顧客の暴言や理不尽な要求などのカスハラにより、民間だけでなく公務員も被害を受けている現状がある。区の職員を守る取り組みについて伺う。

【区長答弁】

電話の応対を含めカスハラのケースが増え、時間が掛かる場合や内容も過剰になっている。カスハラを受けた職員は精神的に消耗するため組織として毅然とした対応をとることや、職員のメンタルヘルスケアを行うことで、心身ともに健康を保ち、職務に取り組めるように努めてまいりたい。



3 「5歳児健診」の実施について伺う

発達に特性を持つ子どもを早期に発見し、適切な支援につなげることができ、次世代を担う子どもたちの健やかな成長に欠かせない事業である「5歳児健診」の実施について伺う。

【区長答弁】

医師等の専門的知識を持ったスタッフの確保や、健診後のフォローアップ体制の構築など課題があるが、実施に向けて検討する。

令和6年度台東区の主な事業について

子ども・子育て施策や福祉施策、地域活性化に資する取組みの充実、およびデジタルを活用した行政サービスの向上などとともに、能登半島地震を踏まえた緊急防災対策など掲載いたします。

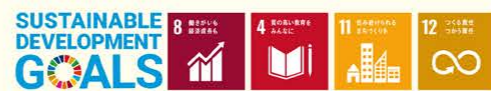
水・食料・生活必需品の備蓄

能登半島地震発生を受け、緊急防災対策として2億円を計上。
避難所の衛生対策と環境改善に取り組みます。



台東区を舞台とした大河ドラマ「べらぼう」活用推進

令和7年1月に、大河ドラマ館及びお土産館を台東区民会館に開設します。
台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会を主体として、WEBサイトやポスター等の広報媒体によるプロモーション活動を実施するなど、地域の活性化に取り組みます。



箱入娘屋人魚（国立国会図書館蔵）

したまちミュージアムのリニューアル

昭和55年開設のしたまちミュージアム（旧下町風俗資料館）設備全般の更新を行い、令和7年3月にリニューアルオープンいたします。
1・2階の展示室の更新に加え、3階には来館者が資料の検索を行うことが出来る情報コーナーや展示スペースを新たに設けます。



金杉通り沿い再現展示イメージ

高齢者ふれあい入浴

高齢者ふれあい入浴券の対象者と給付枚数を拡充しました。
自己負担額は50円から100円に変更となり、令和6年4月以降、受付が開始され6月から、郵送・窓口給付が始まります。



聞こえの改善機器購入費助成

聴力機能が低下した高齢者に対し、補聴器の購入費の一部を助成することにより、生活の質の向上や社会参加の促進を図ることを目的としています。
令和6年11月より申請受付を開始します。
（対象者及び助成内容については直接、高齢福祉課 03-5246-1220へ確認してください）



高齢者デジタル活用支援として、ICTを活用した介護予防活動支援並びに、障害者支援のデジタル化推進



- 1 障害者支援アプリを導入します。
障害種別や手帳等級に応じたサービスの検索や配信機能に加え、放課後等デイサービス事業所等の空き情報を検索できるアプリを導入します。
- 2 習慣化アプリによる介護予防活動の支援を行います。
ウォーキングを習慣化できるアプリを導入し、高齢者同士で気軽に交流しながら継続的に運動できる仕組みを創出し、フレイル予防を推進します。
- 3 高齢者スマートフォン個別相談会、障害者スマートフォン講習会を実施します。



出産費用助成

出産費用は年々増加傾向にあるため助成金を支給します。
対象者として、令和6年4月1日以降に出産した母、1人につき5万円補助します。



プラスチック資源のリサイクル

現在、令和4年10月からモデル事業を実施していますが、令和7年4月から区内全域で分別回収を行います。区内全域でのプラスチックの戸別回収は23区初であり、プラスチックの資源化により、清掃工場のごみ焼却量を減少、環境負荷低減を図ってまいります。



魅力ある公園の整備・さわやかトイレ整備



事業内容

▶公園の整備にあたり、新たな機能の追加や、立地や利用実態を踏まえた公園の整備を行う。また、公園整備に合わせて、公園トイレを整備する。

【公園】

- | | | | |
|-----|-----|------|--------------|
| ・工事 | 1か所 | 小島公園 | スポーツコーナー等を設置 |
| ・設計 | 1か所 | 千束公園 | 水遊び施設等を設置 |

【トイレ】

- | | | | |
|-----|-----|-------------------------|-----------------|
| ・工事 | 3か所 | 西町公園
小島公園
谷中清水町公園 | } バリアフリートイレ等を設置 |
| ・設計 | 1か所 | 柳北公園 | |

スケジュール

- ▶令和6年6月～令和7年3月
・公園整備設計、トイレ整備設計
- ▶令和6年9月～令和7年3月
・公園整備工事小島公園
・トイレ整備工事西町公園、小島公園
谷中清水町公園



小島公園スポーツコーナー整備イメージ